

## 臨床研究内容 ホームページ公開用

### 1. 研究課題名称

熱傷患者の自宅退院に関連する要因の検討

### 2. 研究の背景・目的

熱傷患者のリハビリテーションゴールは、単に身体機能の改善だけでなく、元の社会生活環境に復帰することです。しかし、熱傷は受傷要因や受傷部位、重症度により様々な病態を呈し、そのゴールの到達は容易ではありません。今回の研究では、熱傷患者のリハビリテーションを実施した症例において自宅退院が可能であった症例と転院もしくは施設入所を要した症例において、自宅退院に関連する因子を明らかにすることを目的に対象期間における患者様の診療記録を利用させて頂きます（基礎情報・診療経過・検査データなど）。

### 3. 対象者および対象期間

2005年1月～2015年3月までに当院形成外科にて熱傷で入院し、リハビリテーションを施行した連続58例。このうち入院中に死亡した6例を除く52例を検討対象にしています。

### 4. 研究内容

対象の52例を自宅退院と転院の2群に分け、退院時の転帰（自宅退院か転院）に対して年齢などの基礎的情報やリハビリテーション上の評価のうち、どの要因が関連しているのかを調査します。

### 5. 個人情報の管理について

データの集計の際は患者名をコード化し、個人を特定できないように配慮します。

### 6. 研究期間

2015. 4～2015.10 までの6ヶ月間

### 7. 医学上の貢献

本邦において熱傷患者の転帰に関連する要因分析を行った研究はなく、熱傷患者の診療向上に役立つものと考えます。

### 8. 研究機関

製鉄記念八幡病院リハビリテーション部

### 9. 連絡先（研究責任者）

上記研究対象期間において該当になる方で研究に対して不都合がある場合や研究に対してご不明な点がございましたら下記の連絡先まで連絡をください。

製鉄記念八幡病院リハビリテーション部 鈴木裕也

805-8508 北九州市八幡東区春の町 1-1-1 TEL:093-671-9318